

この2ヶ月あまり、マイアミ周辺の自治体の首長への表敬訪問を行って来ましたのでここでまとめてご紹介したいと思います。

2014年6月  
在マイアミ総領事  
長 嶋 伸 治

#### **レガラード・マイアミ市長（4月2日）**

○総領事館が所在するマイアミ市は鹿児島市と姉妹都市であり、市長も私の訪問の際に開口一番、鹿児島市との交流に触れました。鹿児島市からは過去に市長がマイアミ市を訪問していますが、2013年11月、私の着任直後にも中学生の一行がマイアミ市を訪問し、当地でホームステイを経験したりしました。私も米国側の関係者とともに訪問団一行を公邸にお招きして懇親会を実施いたしました。

○マイアミ市は北米と中南米の中継点として都市開発や貿易、投資などで近年大変な発展を見ておりますが、同市長はグローバル化する世界に対してさらにマイアミ市を打ち出すべくいろいろな取り組みをおこなっている由です。



レガラード・マイアミ市長表敬

#### **レヴィーン・マイアミビーチ市長（4月22日）**

○マイアミビーチは言わずと知れたアメリカを代表する観光地です。同市は1959年から神奈川県の藤沢市と姉妹都市として交流を続けています。2013年11月には藤沢市長がマイアミビーチ市を訪問しております。

○マイアミビーチは20世紀の初め頃から浅瀬を埋め立てて作られた人口の島が母体となっており、その造成に当たったアメリカ人の開発業者に緑化と植栽の分野で協力したのは神奈川県出身の日本人でした。彼らはその後も造園業を営み、アメリカ人から友情と敬意を持って受け入れられ、戦中戦後とマイアミで過ごしたとの記録があります。

○最もアメリカ的な観光地であるマイアミビーチの開発に日本人が重要な役割を担ったことと神奈川県藤沢市がその経緯とは別に戦後姉妹都市になっていることに不思議な縁を感じます。



レヴィーン・マイアミビーチ市長表敬

### グリクスティン・デルレイビーチ市長（5月5日）

○デルレイビーチ市は海岸沿いは落ち着いたリゾート地ですが、内陸よりの場所に「森上博物館・日本庭園」があります。20世紀初めにデルレイビーチ市付近に日本人の一人が入植しました。彼らは、何もない原野を開墾して農場とし、「ヤマト・コロニー」と名付けてパイナップルや野菜の栽培を始めました。それは野心的な試みでしたが、栽培は自然災害やマーケットアクセス問題等のため、一人減り二人減りしてとうとう森上助次氏一人となり、同氏はパイナップル栽培や野菜の卸売り業を続けて戦後までこの地で過ごしました。

○同氏は独身だったため跡取りがおらず、結局事業で手に入れた土地を森上の名前を残すとの条件で全て地元自治体に寄付しました。その土地を利用して現在全米でも唯一の日本文化専門の博物館と立派な日本庭園が地元自治体により運営されています。

○森上氏が京都府宮津市出身であることが縁となって両市は姉妹都市となっており、宮津市長も同市を来訪したことがあります。グリクスティン市長は都合で訪日できませんが、同市の代表団が2014年中に、宮津市を訪問する予定と伺いました。デルレイビーチ市にとって、「森上博物館・日本庭園」の意義は大きく、同市の紹介パンフレットにも森上氏の写真入りでその貢献を紹介している他、同市には「モリカミ」の名を冠した小学校もあるそうです。また、かつて「ヤマト・コロニー」のあった付近の道路は「ヤマト・ロード」と命名されています。

## ヒメネス・マイアミデード郡長（6月11日）

○日本と異なり、アメリカでは州の下位の自治体として郡 (county) があり、独立した行政を行っています。そのさらに下位に当る「市」を包含する他、どの市にも所属しない地域は郡が直接行政を行っています。マイアミデード郡はマイアミ市、マイアミビーチ市も管轄下に置いています。

○マイアミデード郡もそのような郡の一つであり、フロリダ州には67の郡があります。同郡はマイアミ国際空港、マイアミ港を管轄している他、現在建設中のマイアミ・オーランド間を結ぶ民間の旅客鉄道にも関与しているなど各市の範囲を超えるような大きな事業を管轄しています。

○郡長は2016年運行開始予定の旅客鉄道のマイアミ駅はバス、タクシー、通勤電車も乗り入れ、マイアミ空港ともアクセスのある駅で言えばニューヨークのグランド・セントラルステーションのようなもので、かつショッピング街やレストラン街も入った複合施設の予定であると語り、マイアミの新しい顔になるとの趣旨を語っていました。